

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年2月12日

計画の名称	14 人・物の広域交流の促進による地域の活力がみなぎる“富士”のまちづくり									
計画の期間	平成21年度 ~ 平成25年度 (5年間)	交付団体	富士市							
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 本市の広域アクセスの拠点となる新幹線新富士駅周辺及び新東名富士ICを中心とし、安全、安心かつ快適な道路空間及び市街地空間を形成することにより、人・物の広域交流を促進させ、地域の活力がみなぎる街を形成する。 <ul style="list-style-type: none"> ○物流、観光アクセス機能を向上させる道路整備や道路維持を実施 ○富士市の玄関口となる広域アクセス拠点周辺の基盤整備 ○安全、安心かつ快適な道路空間の確保のため、歩行者と自動車が分離された道路の整備による利用者の安心度の向上。 									
計画の成果目標 (アウトカム指標)	<p>指標1: 産業集積地等から新東名富士ICにアクセスする総移動時間の短縮率を13%に向上させる。</p> <p>指標2: 自動車が安全、安心、快適に利用できる道路空間の確保率を37%から62%に向上させる。(※幹線道路における望ましい舗装の管理水準(MCI=5.0以上)から指標を計測)</p> <p>指標3: 人々が安全、安心、快適に生活できる環境の確保率を3%から9%に向上させる。(道路、公園など公共空間の増加に伴い、通風や採光の確保(快適性)、緊急時の対応や災害時の避難機能(安全性)が向上する。また、接道する道路幅員が広がることや宅地が整形化されることにより、土地の有効活用・高度利用(利便性)が可能となる。)</p> <p>指標4: 歩道と車道を分離することにより、安全に通行できる道路延長の割合を21%から41%に向上させる。</p>									
アウトカム指標の定義及び算定式				アウトカム指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値	中間目標値	最終目標値				
指標1	・対象路線について各産業集積地等から新東名ICまでの現況総移動時間及び整備後の総移動時間を測定し、短縮時間率を算出する。 総移動時間短縮率(%)=(1-(整備後の総移動時間/整備前の総移動時間))×100			0%	--	13%				
指標2	・計画路線の管理水準(MCI=5.0以上)の面積を測定し、計画路線の総面積に対する割合を算定する。 安全・安心・快適な道路空間の確保率(%)= Σ(対象路線MCI=5.0以上の面積) / (計画路線の総面積)×100			37%	--	62%				
指標3	・土地区画整理事業により確保された、安全・安心・快適な生活環境の面積を測定し、基準総面積に対する割合を算出する。 安全・安心・快適な生活環境の確保率(%)=(安全・安心・快適な生活環境の面積)/(基準面積)×100			3%	--	9%				
指標4	・改善が必要な道路延長のうち、対策完了により安全に通行できる道路延長の割合を算出する。 利用者の安心度(%)=(安全通行可能な道路延長/改善が必要な道路延長)×100			21%	--	41%				
全体事業費 (上段:計画 下段:実績)	合計 (A+B+C)	5,587 百万円	A	5,107 百万円	B	0 百万円	C	480 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	8.6%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
街路整備課、インター周辺区画整理課、新富士駅南整備課、建設総務課、道路維持課、市街地整備課、市民安全課		平成27年2月
		公表の方法
		富士市ウェブサイトに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期等を記入) - :その他(中止、未実施等))

交付対象事業														A 地方道路整備事業					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)									
												H21	H22	H23	H24	H25					
14-A3	街路	一般	富士市	直接		区画	改築	0.55	第二東名IC周辺地区((都)末広線外)	区画整理 A=45.0ha	富士市						1,123	△	H32		
14-A4	街路	一般	富士市	直接		区画	改築	0.55	新富士駅南地区((都)田子浦往還通り線外)	区画整理 A=29.21ha	富士市						1,100	△	H34		
14-A5	道路	一般	富士市	直接		市町村道	改築	0.55	(1)一色小沢3号線	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=1,196m	富士市						506	△	H30		
14-A6	道路	一般	富士市	直接		市町村道	改築	0.55	(1)新富士インター城山線	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=1,500m	富士市						700	△	H29		
14-A7	道路	一般	富士市	直接		市町村道	改築	0.55	(1)天間清水久保2号線	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=1,750m	富士市						273	△	H28		
14-A9	道路	一般	富士市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)富士鷹岡線(水戸島)	舗装補修 L=0.54km	富士市						60	○			
14-A11	道路	一般	富士市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)田子浦伝法線	舗装補修 L=0.58km	富士市						101	○			
14-A12	道路	一般	富士市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)富士鷹岡線(久沢)	舗装補修 L=0.33km	富士市						43	△	他事業と調整		
14-A18	街路	一般	富士市	直接		S街路	電共	0.5	(都)本市場大潤線(青葉町工区)	電線共同溝 L=72m	富士市						9	○			
14-A19	街路	一般	富士市	直接		S街路	改築	0.55	(都)中島林町線	現道拡幅 L=650m	富士市						177	○			
14-A23	道路	一般	富士市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)柳島広町8号線	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=620m	富士市						795	△	H28		
14-A26	道路	一般	富士市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)前田宮下線	舗装補修 L=0.50km	富士市						60	-			
14-A27	道路	一般	富士市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)富士駅南口田子浦線	舗装補修 L=0.44km	富士市						50	-			
14-A29	街路	一般	富士市	直接		S街路	電共	0.55	(都)本市場大潤線(青葉町工区)	電線共同溝 L=106m	富士市						25	○			
14-A30	道路	一般	富士市	直接		市町村道	交安	0.55	(1)臨港富士線	立体昇降装置 N=1基	富士市						85	-			
											合計					5,107					

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24	H25			
合計												0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24	H25			
14-C1	施設整備	一般	富士市	直接		防災施設	0.55	第二東名IC周辺地区	調整池2基(ΣA=22,000㎡)	富士市						450	△	H30
14-C2	調査・計画	一般	富士市	直接		点検	0.55	長寿命化修繕計画に伴う橋梁点検	橋梁点検委託 N=112基	富士市						18	-	
14-C3	交通安全	一般	富士市	直接		市民啓発	0.55	交通安全対策事業	交通安全啓発・交通安全教育	富士市						12	○	
合計												480						

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
14-C1	第二東名IC周辺地区(14-A3)内の道路整備と併せ、調整池を築造することにより、治水能力を高め、安全、安心かつ快適な道路空間及び市街地空間を形成する。																
14-C2	橋梁長寿命化修繕事業(14-A28)一体的に調査することにより損傷の早期発見と効率的な修繕の実施とトータルコスト削減を図る。																
14-C3	地方整備道路事業(14-A1～A28)と一体的に交通安全に対する啓発・教育等を進めることによって、交通事故のない安全、安心なまちづくりの推進を図る。																

その他関連する事業

計画等の名称	32 暮らしの安全・安心を創出する“ふじのくに”のみちづくり															
番号	事業種別	交付団体	要素事業名	市町村名	全体事業費(百万円)	進捗状況	備考									
32-A'79	道路	富士市	(2)宮島五貫島線 宮島	富士市	74	△	H27									

計画等の名称	38 人・物の広域交流の促進による地域の活力みなぎる”富士”のみちづくり(防災・安全)															
番号	事業種別	交付団体	要素事業名	市町村名	全体事業費(百万円)	進捗状況	備考									
38-A'1	街路	富士市	(都)本市場大淵線(大淵工区)	富士市	814	△	H26									
38-A'2	街路	富士市	(都)本市場大淵線(傘木上工区)	富士市	1,200	△	H29									
38-A'8	道路	富士市	(1)吉原沼津線(今泉)	富士市	138	△	H30									
38-A'10	道路	富士市	(1)伝法原田線	富士市	78	○										
38-A'13	道路	富士市	(1)吉原沼津線(比奈)	富士市	90	△	H30									
38-A'14	道路	富士市	(2)片宿末広町線	富士市	60	△	H30									
38-A'15	道路	富士市	(1)田子浦鷹岡線	富士市	54	△	H26									
38-A'16	道路	富士市	(1)吉原浮島線	富士市	90	△	H30									
38-A'17	道路	富士市	(1)弥生線	富士市	100	△	H30									
38-A'20	街路	富士市	(都)五味島岩本線(中島上工区)	富士市	194	△	H26									
38-A'21	街路	富士市	(都)富士鷹岡線	富士市	181	○										
38-A'22	街路	富士市	(都)富士駅南口田子浦線	富士市	340	△	H29									
38-A'25	道路	富士市	(1)臨港富士線	富士市	76	○										
38-A'28	道路	富士市	(1)臨港富士線外13路線	富士市	312	△	修繕計画により実施									
38-A'31	街路	富士市	(都)五味島岩本線(岩松工区)	富士市	145	△	H30									
38-A'32	街路	富士市	(都)左富士臨港線(青葉台工区)	富士市	30	△	H28									
38-A'33	街路	富士市	(都)左富士臨港線(青葉台東工区)	富士市	40	△	H30									

A'	4,016 百万円	B'	0 百万円	C'	0 百万円	(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	5.0%
----	--------------	----	----------	----	----------	-------------------------------------	------

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・天間清水久保2号線等の新東名側道事業の一部供用開始により、市の北西部地域と新富士IC間のアクセス性が向上した。 ・市内主要道路の舗装補修により、住民や観光客の移動の安全性及び快適性が向上した。 ・土地区画整理事業より、街路、街区が整備された結果、安心、安全に生活できる環境が確保され、安全性、快適性、利便性が向上した。 ・中島林町線の現道拡幅や宮島五貫島線の歩道整備等により、歩行者と自動車が分離され安全に通行できる道路延長が増加した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（総移動 時間短縮率）	最終目標値	13 %	目標値と実績値 に差が出た要因	【要因】 用地取得に時間を要したことから事業完了時期が大幅に遅延してしまい、計画区間の一部が未供用となっているため。 【対応策】 上記問題に関しては解決の目処が見ついたことから、未供用区間の平成28年度未完了を目指す。
		最終実績値	8 %		
	指標②（安全・ 安心・快適な道 路空間の確保 率）	最終目標値	62 %	目標値と実績値 に差が出た要因	【要因】 当初の想定以上に路面の劣化の進行が早かったため、対象路線以外の区間で管理水準を下まわる道路空間が増加し、 目標値と実績値に差が出た。 【対応策】 今後は、策定中である舗装修繕計画に基づき、適正な路面の維持管理を行う。
		最終実績値	53 %		
	指標③（安全・ 安心・快適な生 活環境の確保 率）	最終目標値	9 %	目標値と実績値 に差が出た要因	【要因】 市単独事業においても、他の路線の整備を進めたため。
		最終実績値	10 %		
	指標④（利用者 の安心度）	最終目標値	41 %	目標値と実績値 に差が出た要因	【要因】 地権者との交渉の進捗状況により、本指標に係るもの以外の事業に優先して事業費を配分したため。 【対応策】 次期計画へ移行した事業の整備を進めることで、本指標について平成26年度末目標達成見込である。
		最終実績値	40 %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・本市場大淵線（青葉町工区）の無電柱化が完了し、都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保が図られた。 ・橋梁長寿命化計画に基づき、適切な補修・補強を実施することで施設の安全性を確保し、長寿命化が図られた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通拠点である新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間のアクセス性を向上させることにより、人・物の広域交流を促進させ、まちの魅力向上や産業の活性化など都市活力の向上を図る。 ・安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指し、交通安全施設等の整備、災害時の通行空間の確保及び道路施設の長寿命化を推進する。 					

